

B 型解離に対する治療戦略ならびに pre-emptive TEVAR の有用性についての検討

1. 研究の対象

2012 年 1 月～2023 年 7 月に当院で大動脈解離 (Stanford B 型) の診断または治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

Stanford B 型大動脈解離に対する治療は保存的加療が中心ではありますが、急性期に合併症を有する症例に対する TEVAR や急性期以降に大動脈径の拡大が予測される症例に対する pre-emptive TEVAR や人工血管置換術があります。本研究は B 型大動脈解離に対する治療介入の方法やそれぞれの治療方法の有用性やその適応について検討することを目的としています。

Stanford B 型大動脈解離：大動脈解離の中で上行大動脈に病変が及んでいない形態

TEVAR：胸部大動脈ステントグラフト内挿術

Pre-emptive TEVAR：将来的に血管径の拡大が予測される症例に対して行う治療

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：B 型解離発症の時期、B 型解離の形態、発症時の血管径、治療内容、手術介入の有無、性別、内服薬、手術前後の CT データ、術後合併症の有無、術後の再手術の有無、再手術の内容等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究責任者： 心臓血管外科 平岡 有努

担当者： 心臓血管外科 池田 諒